|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 見出し／本文 | やさしい日本語 |
| 19 | 応急危険度判定 |  |
|  | 応急危険度判定とは、大地震により被災した建物を調査し、その危険性を判定するものです。建物の余震による倒壊の危険性などを判定し、人命にかかわる二次的災害を防止するために行います。判定が済めば、赤・黄・緑のいずれかの紙が建物の見やすい場所に貼られます。それぞれの色の意味は、以下の通りです。○赤：危険　危ないので入ってはいけません。○黄：要注意　入るときは、注意して下さい。○緑：調査済み　入っても大丈夫です。応急危険度判定の実施の有無や実施地域は、市町村が判断します。詳しくは、住所所在地の市町村にお問い合わせください。＊り災証明書発行の際に行う建物調査とは、別の調査です。 | やがどのぐらいないかべてをはりますーがとてもたいへんだったところでは、やなどをべてをはります。そのやなどがどのぐらいないかべます。＜でる＞でもっとれるかもしれないやにみんながをつけることができるようにします。べたら、かかのをやにはります。です。●のの○---「」：ないかららないでください。○---「」：るときは、をつけてください。○---「」：ってもいいです。だいじょうぶです。もっとしくりたいときはのからんでいたやののの(ひと)にきいてください。※【】のためにやをべるのとのためにべるのとはいます。は【】のわりではありません。【】とはいます。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 見出し／本文 | やさしい日本語 |
| 19 | 応急危険度判定 | 応急危険度判定（おうきゅうきけんどはんてい） |
| 応急危険度判定とは、大地震により被災した建物を調査し、その危険性を判定するものです。建物の余震による倒壊の危険性などを判定し、人命にかかわる二次的災害を防止するために行います。判定が済めば、赤・黄・緑のいずれかの紙が建物の見やすい場所に貼られます。それぞれの色の意味は、以下の通りです。○赤：危険　危ないので入ってはいけません。○黄：要注意　入るときは、注意して下さい。○緑：調査済み　入っても大丈夫です。応急危険度判定の実施の有無や実施地域は、市町村が判断します。詳しくは、住所所在地の市町村にお問い合わせください。＊り災証明書発行の際に行う建物調査とは、別の調査です。 | 家(いえ)やビル(びる)がどのぐらい危(あぶ)ないか調(しら)べて紙(かみ)をはりますー応急危険度判定(おうきゅうきけんどはんてい)地震(じしん)がとてもたいへんだったところでは、家(いえ)やビル(びる)などを調(しら)べて紙(かみ)をはります。その家(いえ)やビル(びる)などがどのぐらい危(あぶ)ないか調(しら)べます。余震(よしん)＜後で来る地震(じしん)＞でもっと壊(こわ)れるかもしれない家(いえ)やビル(びる)にみんなが気(き)をつけることができるようにします。調(しら)べたら、赤(あか)か黄色(きいろ)か緑(みどり)の紙(かみ)を家(いえ)やビル(びる)にはります。応急危険度判定(おうきゅうきけんどはんてい)です。●紙(かみ)の色(いろ)の意味(いみ)○赤(あか)---「危険(きけん)」：危(あぶ)ないから入(はい)らないでください。○黄色(きいろ)---「要注意(ようちゅうい)」：入(はい)るときは、気(き)をつけてください。○緑(みどり)---「検査済(けんさずみ)」：入(はい)ってもいいです。だいじょうぶです。もっと詳(くわ)しく知(し)りたいときは地震(じしん)の前(まえ)から住(す)んでいた市(し)や町(まち)の役所(やくしょ)の係(かかり)の人(ひと)にきいてください。※【り災証明書】(りさいしょうめいしょ)のために家(いえ)やビル(びる)を調(しら)べるのと応急危険度判定(おうきゅうきけんどはんてい)のために調(しら)べるのとは違(ちが)います。応急危険度判定(おうきゅうきけんどはんてい)は【り災証明書】(りさいしょうめいしょ)の代(か)わりではありません。【り災証明書】(りさいしょうめいしょ)と応急危険度判定(おうきゅうきけんどはんてい)は違(ちが)います。 |